

新しがや

2022年12月25日 No.1409

日本共産党越谷市委員会

越谷市花田1-11-15

電話 962-9595

留守の時 988-7001

2023統一地方選勝利で

暮らしといのちを守るまちをつくろう

「講演と文化の夕べ」開催

12月17日、市党と越谷市日本共産党後援会は、「講演と文化の夕べ」を開催しました。

来春の県議会議員選挙、市議会議員選挙に向けて、ばばひろし党市県政対策責任者



岩淵友参議院議員（右端）とともに、ばばひろし党市県政対策責任者（中央）、大和田さとし（右から2人目）、工藤しゅうじ（その左）、宮川まさゆき（左から3人目）、山田大助（左端）各市議が「来春の県議選・市議選必勝のために団結ガンパロー」をコール

任者、大和田さとし、工藤しゅうじ、宮川まさゆき、山田大助各市議が、県議席の奪還と市議4議席の絶対確保に向けて、決意表明をしました（写真上）。

党の値打ちを強調

岩淵友参議院議員は、県政・市政になくてはならない党議員団の値打ちを強調し、必ず全員勝利をと、大勢の参加者に訴えました。

また1週間前に終わった国会で、旧統一協会の問題や、物価の高騰対策、閣僚の相次ぐ辞任などで、党国会議員団が論戦をリードしたこと



を紹介。さらに岸田首相が安保関連3文書を国会閉会后に閣議決定したことについて、「国民と国会を無視・軽視し、議論する気も無く、聞く耳も持たずに、日本を戦争する国に作り替える暴挙」と指摘し、日本共産党は、大軍拡、大増税にも断固反対することを表明しました。

大軍拡、大増税を許さず、憲法・平和・いのち・くらしを守るためにも、統一地方選挙で党の勝利・躍進が必要と重ねて訴え、参加者は拍手で応えました。

北村姉妹が津軽三味線演奏

文化行事では、津軽三味線で数々の賞に輝く姉妹ユニット「北村姉妹」（写真下）が登場しました。軽妙なトークを交えながら、見事な演奏を披露しました。

12月定例市議会

マイナ保険証、インボイスの中止を

【一般質問】

特別職の期末手当引き上げと個人情報保護条例に反対

例に反対

人事院勧告にもとづき、国家公務員の給与規定の変更に伴い、越谷市職員の給与規定と同様に、市議会議員と、いわゆる特別職（市長、副市長、教育長、会計管理者）の期末手当を引き上げる議案が提案されました。党市議団は「コロナ禍第8波の影響や原油価格・物価の高騰に賃金の引き上げが追い付いていない。現役世代も高齢者も生活が苦しいときに特別職の給与を

引き上げるとは市民の理解は得られない」と反対しました。

個人情報保護法の改正に伴い、越谷市の個人情報取り扱いに関する条例の制定が提案されました。党市議団は「自治体がつ膨大な個人情報やデジタル改革の名で企業の儲けのタネになる」と指摘。同時に「市の審議会条例で議論してきた個人情報に対する自主性が、共通ルール化となることで亡きものになる」として反対しました。

市は国や県の下請けではない

山田大助議員

マイナ保険証や、要介護1・2の介護外し、インボイス制度、少人数学級にもなう教員の確保など国政県政が市民生活や市政運営に与える影響について、具体例を挙げて市の対応を質しました。市長・教育長はほとんどの項目で、「国・県の動向を見守る。必要に応じて要望等をおこなう」と答弁。市政は国・県の下請けではない。「自治」組織として、住民のい

のち・くらしを守る立場で国や県の言いなりにならないよう要望すること、また市として対応策を検討することを重ねて訴えました。

市民の命を守るコロナ対策と駅トイレの洋式化を要望

工藤しゅうじ議員

コロナ対策の拡充を要望。また、ひつ迫する救急隊の増隊要望について、市長は「救急車の増車を検討する」と答弁しました。

越谷駅のトイレが和式で使いづらいとの声が寄せられています。多くの市民が利用する公共交通機関として、東武鉄道株と連携して洋式化するよう要望し

ました。市長は「今年度、越谷駅のトイレを洋式化すると聞いています」と答弁しました。

子どもの権利条例制定と子育て安心のまちを

宮川まさゆき議員

子どもの権利条例（以下条約）をいかし、国の関係法令を待たず、市独自で子どもの意見を市の施策に反映できるように、条例を早急に制定するように求めました。また条約が広く周知されるよう、他自治体の先行事例も参考にし、中学校の生徒手帳に条約の記載を求めました。

不登校児童をオンラインによる授業参加で出席扱いとすることや、小中学校の学校給

食無償化、子どもの医療費を18歳まで無料にすることを求めました。

1,325人もの児童であふれる川小にしたのは市長、教育長の責任

大和田さとし議員

川柳小学校は1年で約100人ずつ児童数が増加します。仮設校舎の増築や学童保育室の整備で校庭が狭小になり、R7年には児童が1,325人、川小の場合、一人あたりの校庭使用面積は5.4³m²で（市内平均は15⁵m²）、およそ3分の1です。市長、教育長に責任があると指摘し、保護者に対する十分な説明責任を果たすよう求めました。

リレーコラム ③7

— ささやかな温暖化対策 —

◆我が家の小さな庭。人が見れば、「何と汚い」と思うこと必定。柑橘3本、佗助が2本と無花果、それと茶、萩などが無造作に植えてある。私は目の保養にとそれらを眺めるのが好きである。「汚い」理由は、選定した小枝や落ち葉などそのまま地表に堆積し、さらに夏ともなれば、長芋の蔓がそれらの木を覆い、自然繁茂の明日葉がそこかしこに緑の葉を伸ばしている◆パートナーはあきれ気味。でも、私は「それでいいのだ」と思っている。秋には香ばしいムカゴご飯が喰える。早秋の明日葉は食べたいとくに取れば良い。枝葉はたまに穴を掘って木々の養分とする。温暖化がいよいよ深刻になっている。言いわけに過ぎないが、いくらかは自然保全に役立つだろうという思いがある◆年に数回、町内の清掃日がある。草むしりが中心なのだが、我が家の脇の雑草は、「のびたら私が床屋をやるから」と組のみなさんに頼んで、抜かないでもらっている。小さな草むらには昆虫やらトカゲやら姿を見せるし、夏の暑さ冬の寒さを和らげてくれる気もするのだ。

（蒲生在住・三枝薫）

topics

原発の再稼働をゆるすな

12月16日、越谷駅で「さよなら原発三金行動」がおこなわれ、危険な原発の再稼働を許すな！と訴えました。



レイクタウンに阿炎関凱旋

12月20日、イオンレイクタウンで幕内初優勝した阿炎関の優勝報告会が開かれました。



補聴器購入助成など要望

12月21日、「越谷社会保障推進協議会」が予算要望の回答を受け、23年度での補聴器購入助成など再要望し懇談しました。



コロナ対策など予算要望

12月21日、「民主市政をめざす越谷市民の会」がコロナ対策、高齢者福祉、子育て支援、市内事業者支援などの23年度予算要望書を市長に手渡し、懇談しました。



場所

蒲生駅

日時

1月24日(火)
午後4時～

◆消費税廃止連絡会宣伝

場所

越谷駅東口

日時

1月20日(金)
午後6時～

◆さよなら原発三金集会

場所

新越谷、南越谷駅

日時

1月10日(火)
午後5時30分～

◆共同センター9の日宣伝

場所

せんげん台駅

日時

1月6日(金)
午後5時30分～

◆原水協6・9

場所

新越谷、南越谷駅

日時

12月27日(火)
午前7時～

◆伊藤岳参議院議員国政報告と市党宣伝

お知らせ